



資料2

東松山市立市民病院

～新公立病院改革プランと当院の将来像～

平成30年8月27日 院長 森野正明





当院の概要

◇種別： 一般急性期病院
二次救急医療機関
第二種感染症指定医療機関

◇病床数： 一般 110床
(地域包括ケア病床12床)

感染症 4床

◇看護体制： 7対1 入院基本料

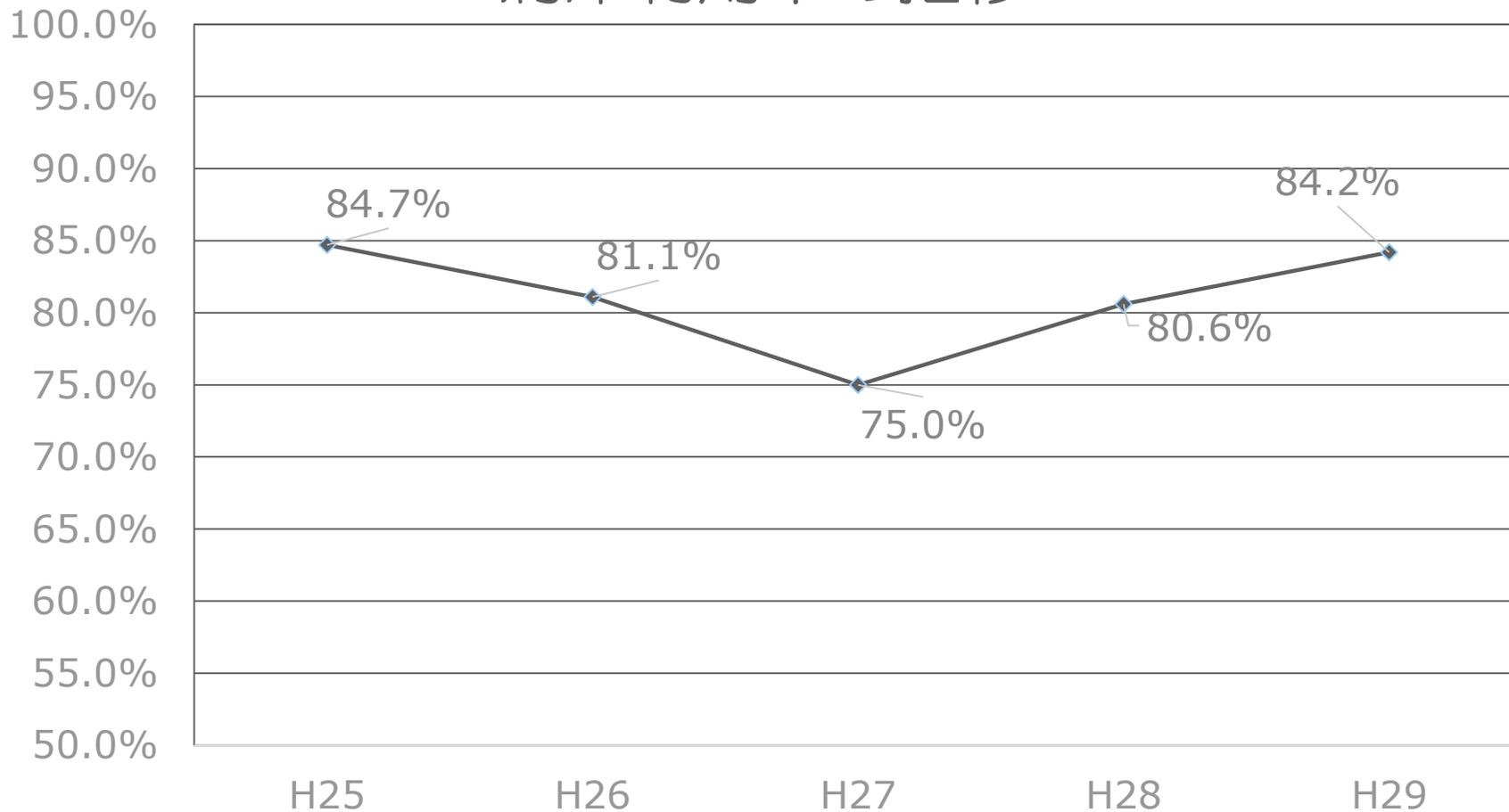
◇診療科： 12科

内科
外科
整形外科
泌尿器科
脳神経外科
皮膚科
耳鼻咽喉科
小児科
眼科
リハビリテーション
放射線科
麻酔科



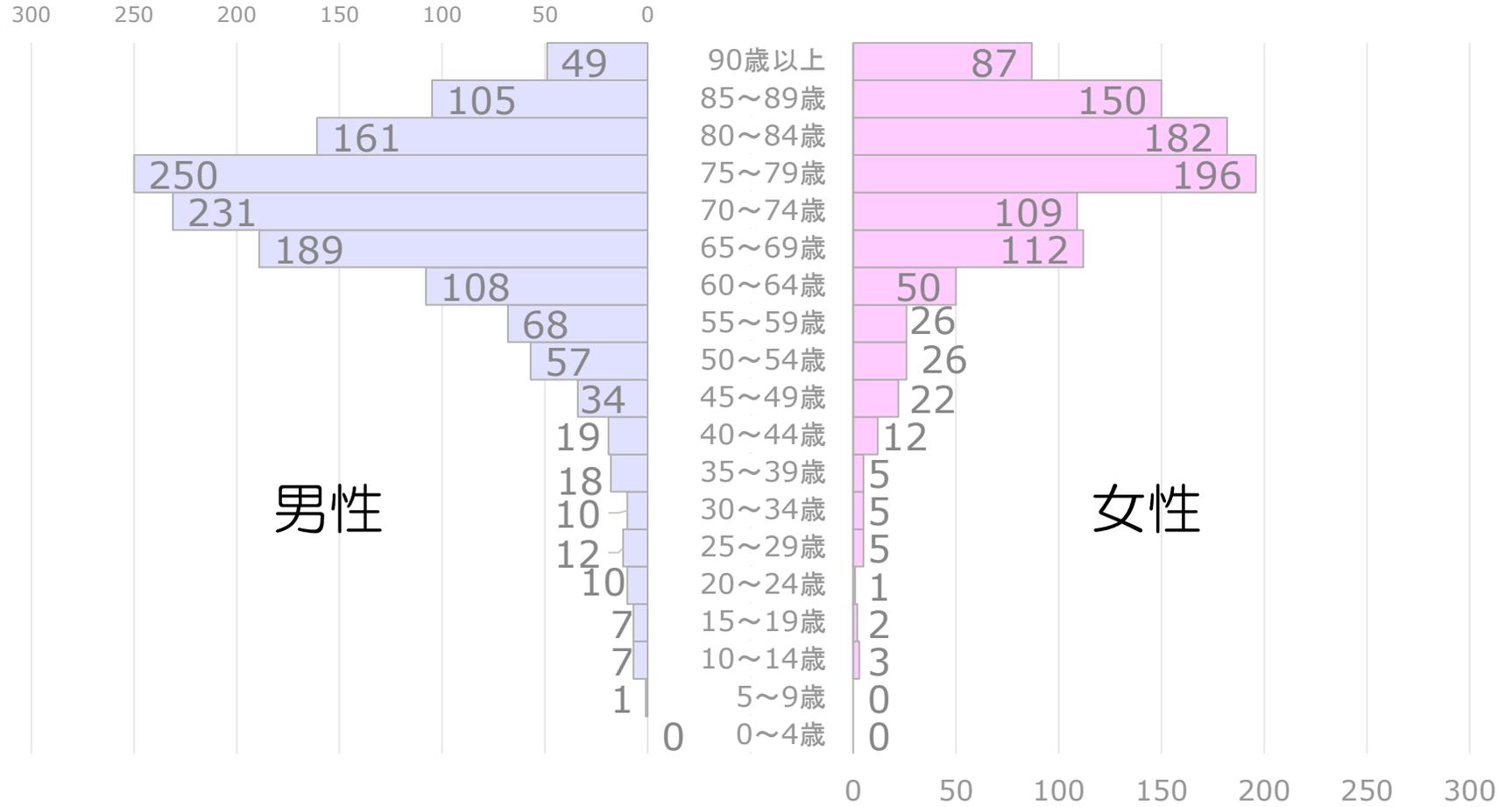


病床利用率の推移

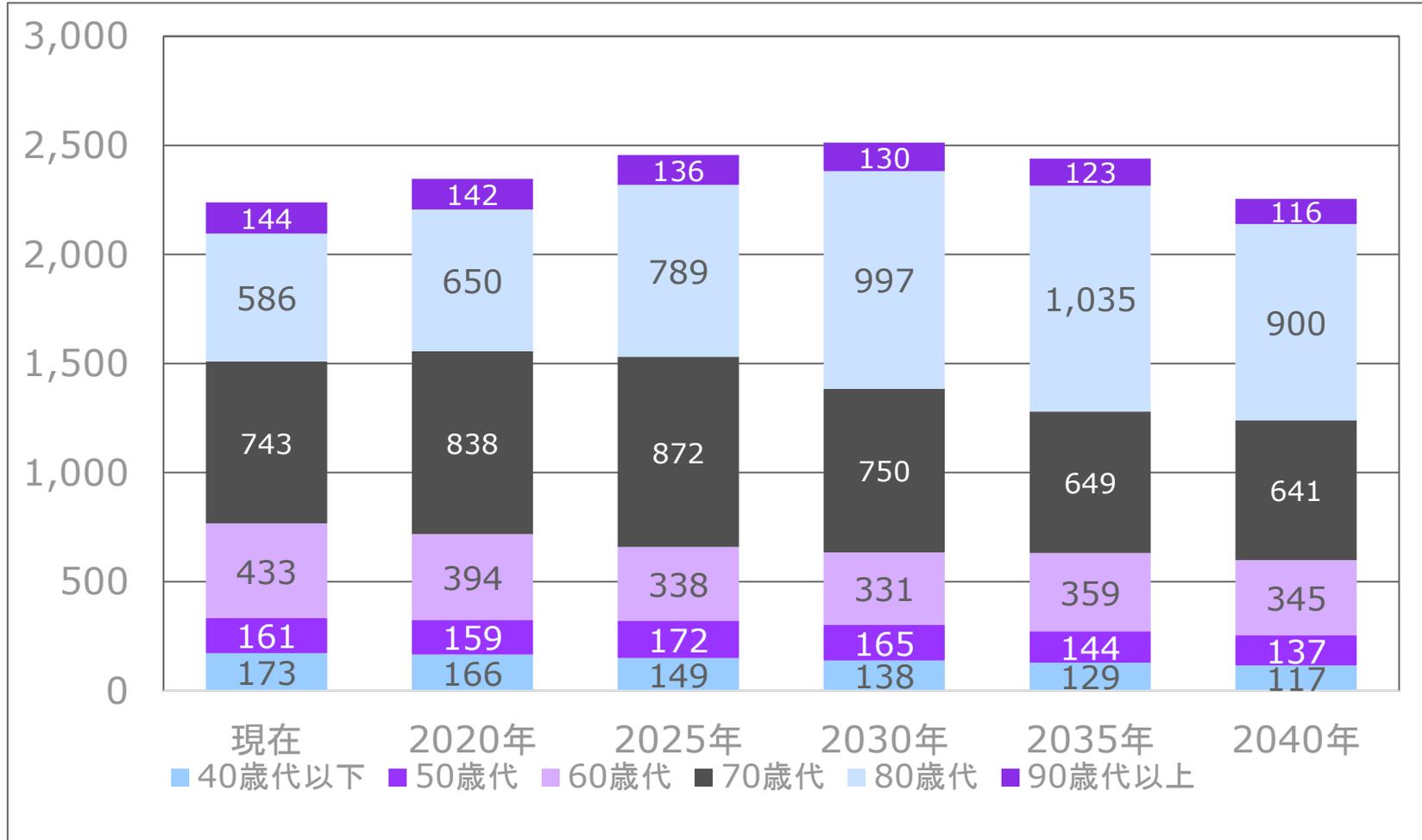




平成29年度入院年齢階層別

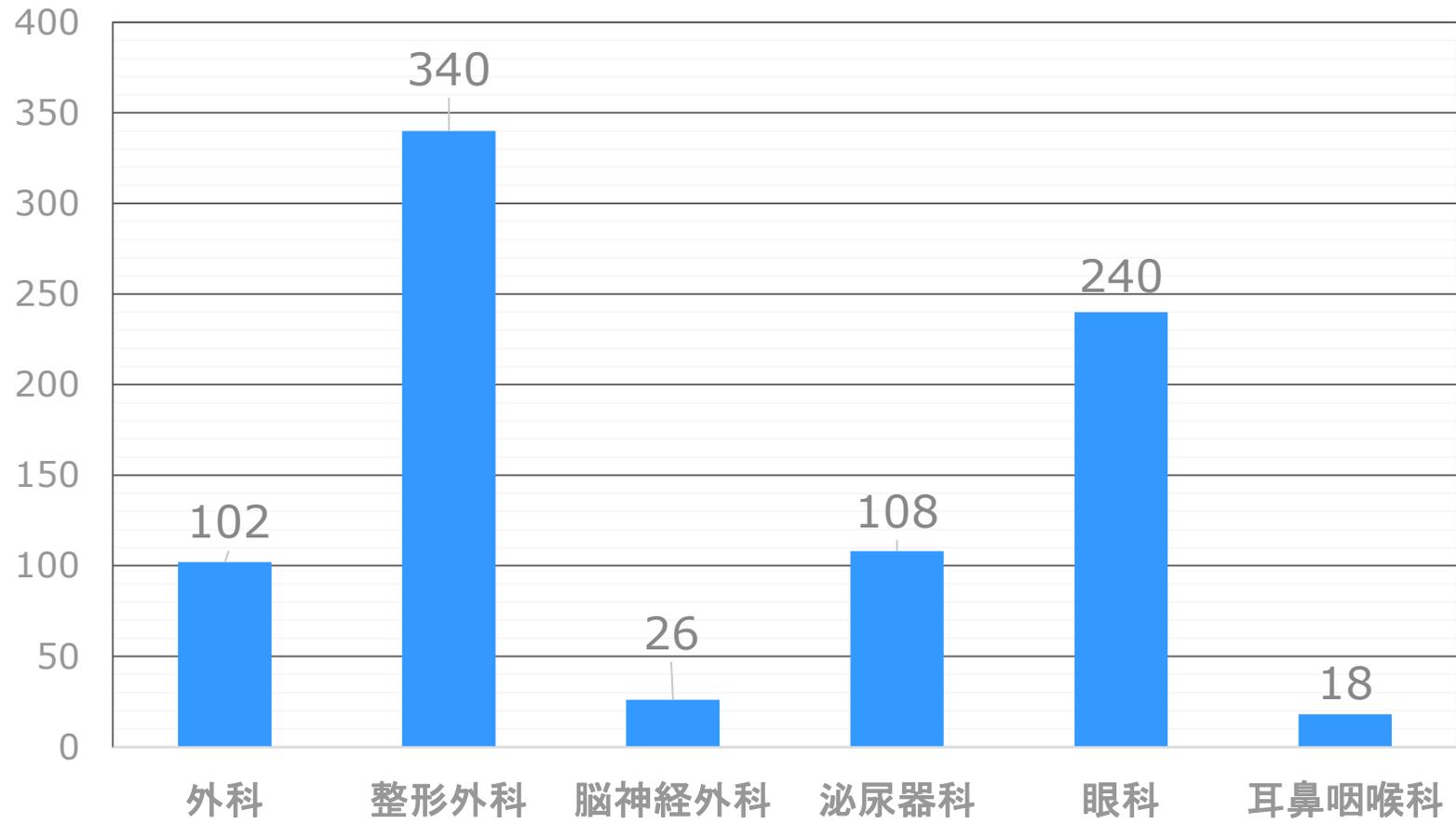


今後の年代別症例推計

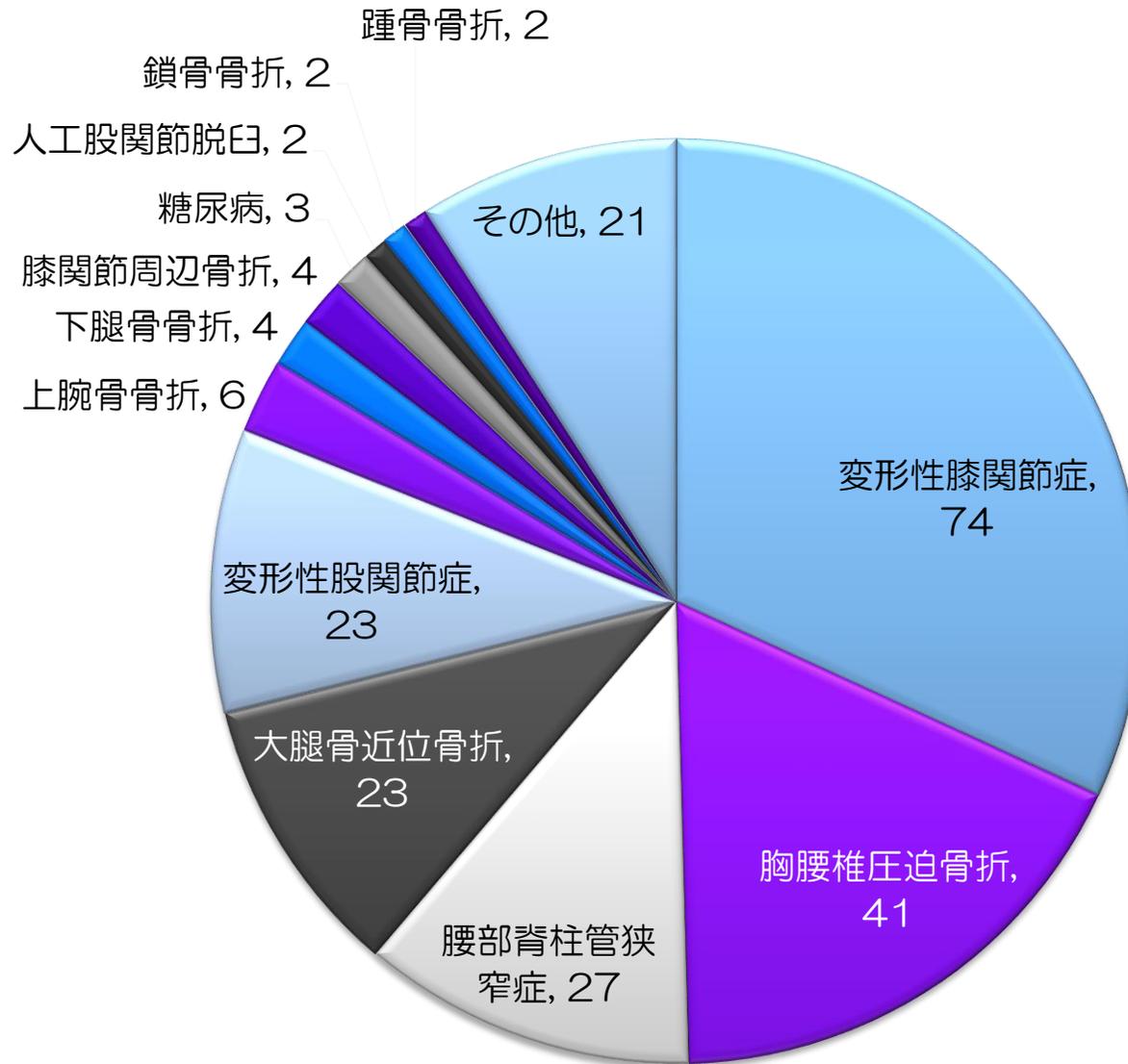




平成29年度診療科別手術件数



地域包括ケア病床主要疾患分類（平成28・29年度）





地域包括ケア病床拡充の目標

- ・ 今後不足するとされる回復期病床が担う在宅へ向けた回復期早期医療の提供
- ・ 地域包括ケア病床が持つサブアキュートとポストアキュートの二つの医療提供による在宅支援





東松山市立市民病院新改革プラン

平成29年度～平成32年度

★主な項目

1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化
2. 経営の効率化
3. 再編・ネットワーク化
4. 経営形態の見直し





1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化-①

～2025年に向けた診療体制(地域包括ケアシステム)の構築～

- ・地域包括ケア病床の拡充 (地域の回復期機能の受け皿に)
地域包括ケア病床 12床 ⇒ 48床
(総病床数 114床 ⇒ 150床)
- ・時間外救急診療の拡充
在宅患者急変時の受け皿へ





1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化-②

～2025年に向けた診療体制(地域包括ケアシステム)の構築～

- 医療連携体制の充実
専任職員を拡充し、地域連携室を組織化
- 在宅患者の支援の充実
理学療法士・作業療法士による訪問アセスメントを開始
- 地域へのアウトリーチの充実
健康講座の拡充





東松山市立市民病院の目指す 2025年に向けての将来像

東松山市内で多数の診療科をもつ急性期病院



地域包括ケア病床の増床

地域連携と他職種連携強化

による在宅復帰への支援の強化

